

# 農業技術 プリズム

で栽培する品目の栽培時期を「排水対策作業スケジュール表」に書き込み、排水対策の実施時期を決定する④排水対策の実施⑤施工後、チェックシートで2回目の圃場状況を

県農林技術開発センターは、排水不良の圃場（ほじょう）に農業者が自分で施工できる排水対策技術をまとめた「露地栽培で活用できる排水対策技術の手引き（令和3年3月）」を作成しました。「排水対策技術の手引き」を使った排水対策は次の流れで行います。

①排水が悪い圃場に対して、作付けしていない状態の圃場を降雨翌日に確認。手引にある「圃場排水性に関するチェックシート」を使い、降雨後の水たまりの状況などをチェックする②チェックが付いた各項目に対して「圃場の状況と発生の原因・対策のポイント」で、圃場の状況と実施する排水対策を選択③圃場

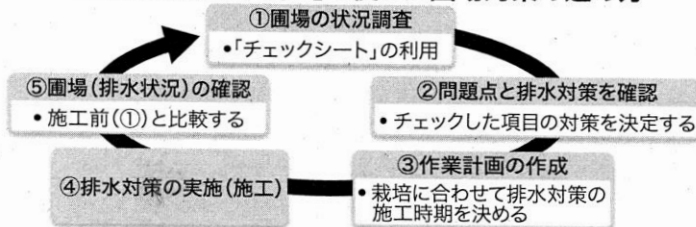
## 圃場の排水対策技術

### 農業者が施工できる 改善の手引活用して

確認。1回目のチェックシートと比較し、排水対策の効果を確認——となります。

①～⑤を繰り返すことで、排水性の改善・向上を目指してください。

#### 「排水対策技術の手引き」を使った圃場対策の進め方



「排水対策技術の手引き」は、県農林技術開発センターホームページのトップページから、PDFファイルでダウンロードできます。  
（県農林技術開発センター 畑作営農研究部門 干拓営農研究室 主任 宮崎朋浩）